Shima city Tourism Association
～志摩市の観光の「いま・これから」をお伝えします～
Vol.18（2026年6月）
志摩市観光協会 ニュースレター

こんにちは。6月に入り早くも30℃越えの日も出始めました。今年は去年よりも暑いという長期予報も発表されていて、まだまだ暑さに慣れていない身体にはつらいところです。そういえばこのところ毎年「今年は去年より～」という予報のような気がしますが、確かに暑さについては毎年記録を更新していますし、今年は連日40℃越え？！なんて勘弁して欲しいところですね。

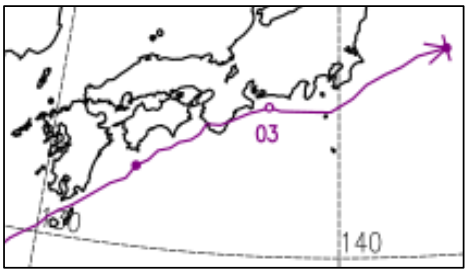
さて、今号はいきなり「今月のコラム」からです。（冒頭のあいさつを書いていたらどうもコラムっぽくなったので・・・）

被災地との向き合い方について考える

～異常気象や自然災害が頻発する世の中で～

気象に関する表現方法が昨今の異常気象に対応するべく今年度に入ってからいろいろ変わりました。最高気温が40℃に達した日を「酷暑日」と言うようになったり、また、防災に関する気象情報も5段階のレベルでの表現になりました。5月29日に変更されて日も経たない内に台風6号が列島を駆け巡り、早速レベル4～5が発出される騒ぎになったことは記憶に新しいことかと思います。

この台風は紀伊半島に上陸し横断したのち、志摩半島の南岸を通り抜けました。私は伊勢市内に住んでいるのですが、夜中じゅう暴風が吹き荒れてスマホの警報がうなり続け、市の防災の身の安全を守るよう呼びかける不気味な放送が街中に響き渡っておりました。付近の五十鈴川が氾濫危険水域に達し避難の対象になり、自分の住まいも勢田川のそばなので氾濫したら寝ている間におぼれ死んでしまうのではと気が気でなく、結局一睡もできずに夜を明かしました。（翌日はなぜか駅構内だけ停電で昼頃まで仕事ができない状態でありました。）



台風6号の進路（気象庁ホームページより）

和歌山に台風が上陸すると私は2011年の「紀伊半島大水害」を思い出します。当時和歌山市内に住んでいましたので市内を流れる紀の川が今にも溢れそうな情景は今でもよく覚えています。この時の台風は紀南の那智川で土石流を発生させ、当時の那智町長のご自宅も流されてその日に結納を迎えるはずであった娘さんと奥様を失われたという痛ましい出来事もあり、連日ニュースでは那智川からの中継が放映されていました。その影響もあり世間の眼は那智町に集中し、その後ボランティアや救援物資の支援が全国から差し伸べられたのですが、実は氾濫したのは那智川だけではありませんでした。紀伊半島の川という川が氾濫し、至るところで浸水やがけ崩れ、地すべりとあらゆる水の被害が発生していたことはあまり知られていなかったのです。報道すらされない地区は支援の手すら届かず、忘れ去られ、いや、被害にあったことすら知られずだったのです。

那智川の土石流が発生した日に当時和歌山の旅館連盟の会長をされていた「かつうら御苑」の社長から

「今からすぐに勝浦に来てくれ。この惨状を見て欲しい」と電話が入り、すぐに車で積めるだけの水を買って向かいました（当時私は某旅行会社の和歌山支店で勤務していました）。4時間近くかけて到着したのは夜中でしたが、社長はまだかまだかと待っていたかのように、すぐに助手席に乗り那智川の現場へ案内してくれました。目に飛び込んできたのは生々しい惨状でした。でもそこで何をしたかというと特に何もしていません。社長は「とにかくこの状況を見て欲しかった。おそらくこれから風評被害含め勝浦、いや和歌山は窮地に立たされるだろう。」と。その言葉を受け、現場の惨状も見た私はいてもたってもいられなくなり、「旅行会社としてできることは何だろう、とにかく何かせねば」という思いに駆られ、その後、和歌山キャンペーンを支店独自で企画するなどをして、誘客を通じての復興に取り組みました。

話は変わり、先日金沢に行く機会があり、用事を済ませたあと「せっかくここまで来たのだから能登に行ってみよう」と思い立ち向かいました。地震から2年半経っていて観光客も戻ってきているだろうから何か輪島でおいしいもの食べてお土産でも買って、と思いながら車を走らせました。輪島に近づくにつれ仮設住宅も目に留まるようになり、そして到着。すると異様な静けさがあたりを包んでいました。シンボルであったはずの輪島キリコ会館は今も臨時休業の看板が掲げられています。その向かい側に建つルートインホテルの敷地内には仮設住宅が建ち並び、被災地の様相を呈しています。16時を回っていたからか同じ敷地内にある物産コーナーらしきところも閉店しており、観光客らしき人影は全くありませんでした。大火のあった朝市通りの場所がわからず、少し離れた道の駅（旧のと鉄道輪島駅）へ向かうと、そこはバスターミナルにもなっているためまばらながらも観光客らしき人もいて、そこではお土産も売っていました。食事はあきらめ、せめて輪島の商品を買って少しでも貢献しようと2，3の商品を選んでレジに行き、少しためらいながらも店員さんに聞いてみました。「あの～、大火のあった朝市通りってどの辺ですか？」物見遊山と思われて気分を害したのではとの心配を吹き飛ばすかのように慣れた感じで地図を示して「ここですよ～」と教えてくれました。私はさっきいたところかと思いながら地図を確認していると、「もう2年半たったからただの空き地にしか見えないですよ、草もボウボウで」と屈託のない笑顔で説明してくれます。御礼を言ってさっきの場所まで戻り改めてその「空き地」の入り口に立ちました。まさにただの空き地ですが、ところどころで電線が垂れ下がり、円板のないバス停の残骸が残っていました。傾きかけた太陽の光が空き地の隅から隅まで照らし出し、今の姿が否応なく目に飛び込んできます。当時のニュース映像を思い出して今の姿と重ね合わせてみたりしながらしばらくその広場を歩いてみたりして、輪島をあとにしました。

朝市通りのあった場所

通り名の銘板だけが、ここが朝市通りであったことを証明しているかのよう

垂れ下がったままの電線が今も放置状態

帰りに和倉温泉へたどり着いた頃には日も暮れて暗くなっていましたが、せっかくなので温泉にも入ろうと日帰り施設の「総湯」へ。そこから辺りの情景に目をやると真っ暗な旅館とおぼしき建物が立ちはだかっておりました。あの有名な温泉処である和倉温泉もかつての賑わいは今もまだ戻っては来ていません

でしたが、工事で作業員の方々が出入りしてライトで照らされている建物もあったりと、復活に向けて動き出していることも確認できました。

温泉で疲れを癒し、家路に向かうハンドルを握りながら何気に「次の旅行は能登半島一周にしよう」と決めました。これも一つの支援なのかもしれません。被災地と向き合ったからこそそういう思いにさせられた（なれた）ということであり、この考えが広がれば被災地はもっと潤うのではと思いました。

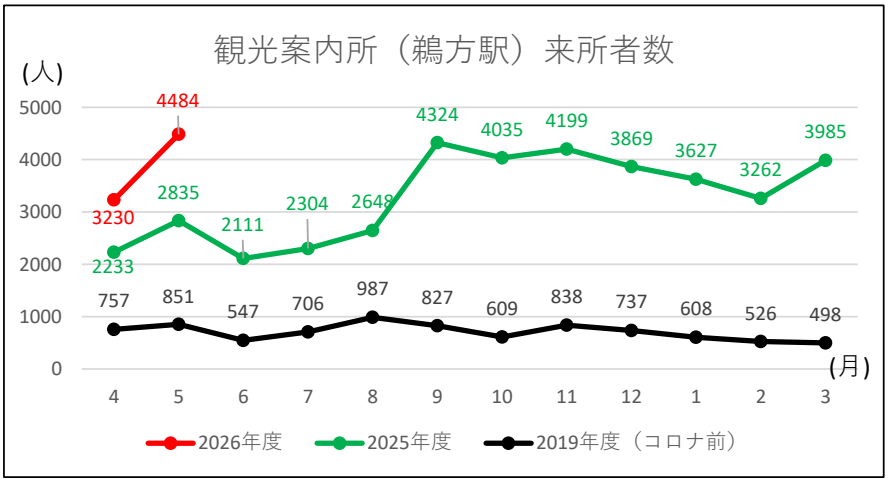
那智と能登、その両方でのことで改めて被災地への向き合い方について考えています。「現地に行くのは不謹慎」という考えは正しいのか？災害直後でそもそも立ち寄れない場合は別として、現場を生で見ることで何かできることはないのかと思うことも支援の第一歩ではないのでしょうか。報道されない被災地を生で見て発信することも支援の一つなのではないのかと。「かつうら御苑」の社長と輪島の道の駅の店員さん、お二方に共通しているのは被災地の住人であり被災者です。この現状をひとりでも多くの人に見て知ってもらいたい、そしてなんでもいいからできることでいいから応援して欲しいとの願いがあっての対応だったのではと私は感じました。

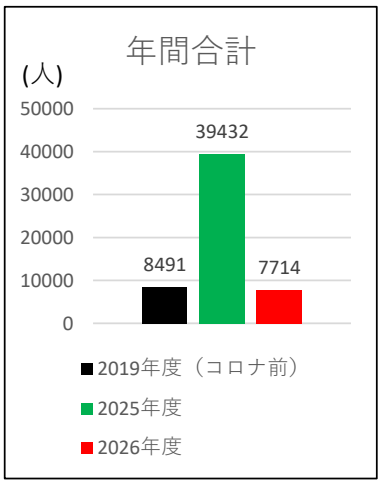
志摩も南海トラフ地震による大きな被害が予測されています。いつかは来るかもしれない災害を受けて被災地の住民の立場になった時、あなたは「どう思い、どう考え、どう対応されますか？」

和倉温泉の夜（総湯の看板の奥には未だ閉鎖中の旅館のシルエットが見えます）

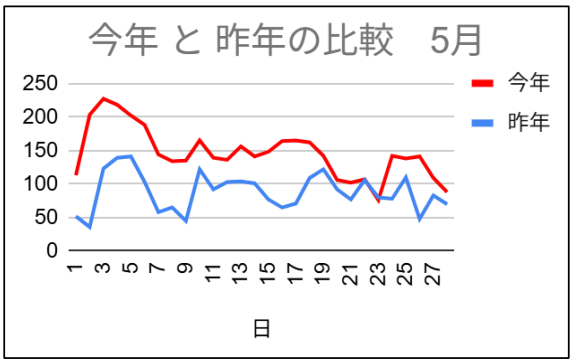
【観光案内所（鵜方駅）来所者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2026年度	3,230	4,484	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,714
2025年度	2,233	2,835	2,111	2,304	2,648	4,324	4,035	4,199	3,869	3,627	3,262	3,985	39,432
2019年度	757	851	547	706	987	827	609	838	737	608	526	498	8,491



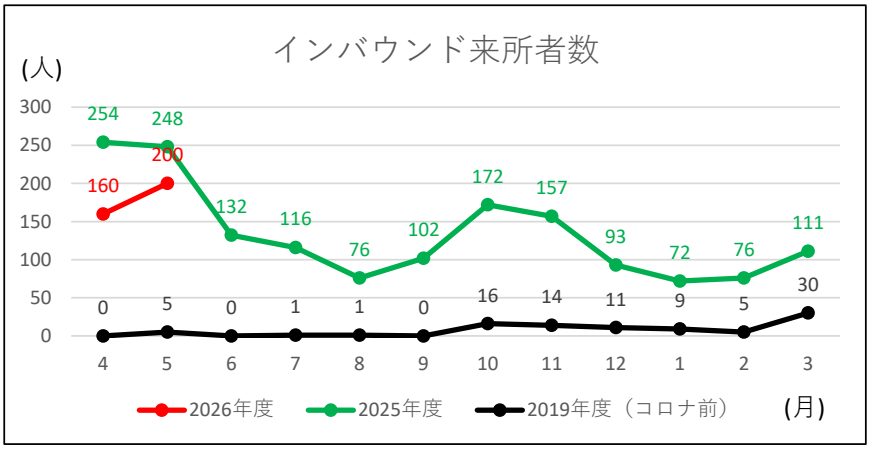


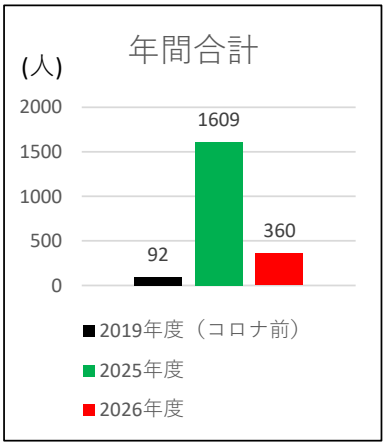
5月の来所者数は4月より＋1,250人、昨年度比で＋1,649人となり、先月以上に大幅な伸びとなりました。その結果単月での来所者数4,484人は過去最高の記録となりました。下の日別のグラフにも示されておりますが、ほぼ全日で前年を上回っておりました。案内所のコアタイムである12時から13時（3本のしまかぜが到着する時間帯）の忙しさが今まで以上だということがスタッフの肌感覚としてあり、後述する横山VIEWタクシーや各種案内所のサービスもすべてで前年を上回っております。推するに神宮の御木曳行事が始まったことで伊勢への来訪が増加し、そこから志摩へ足を伸ばされている方も増えたようで、そこには近鉄がＪＲ東海と連携して強力に宣伝展開をされている「志摩にしました」キャンペーンの効果もあるものと捉えております。

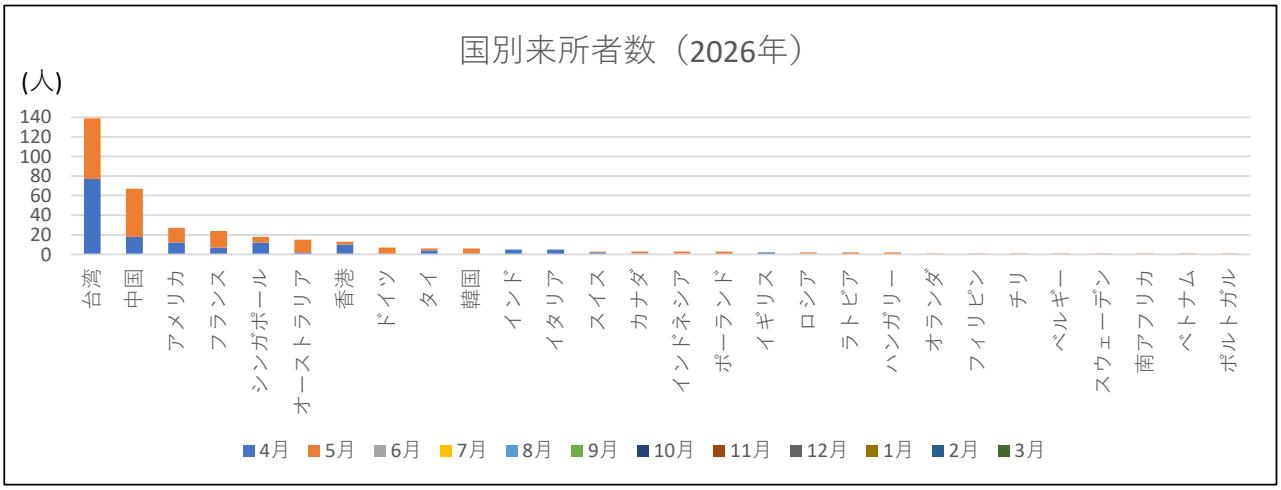


※うちインバウンドの来所者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2026年度	160	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360
2025年度	254	248	132	116	76	102	172	157	93	72	76	111	1,609
2019年度	0	5	0	1	1	0	16	14	11	9	5	30	92



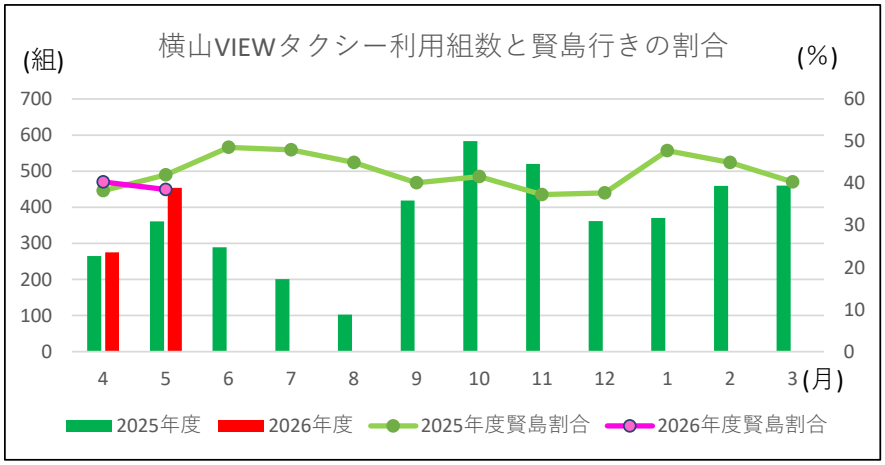


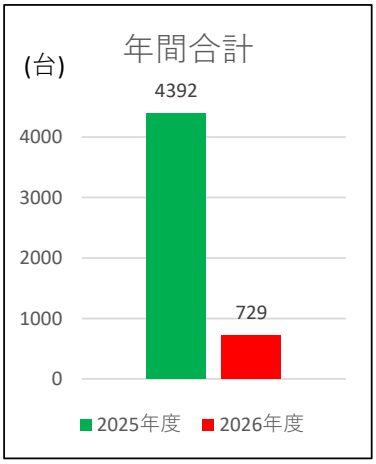


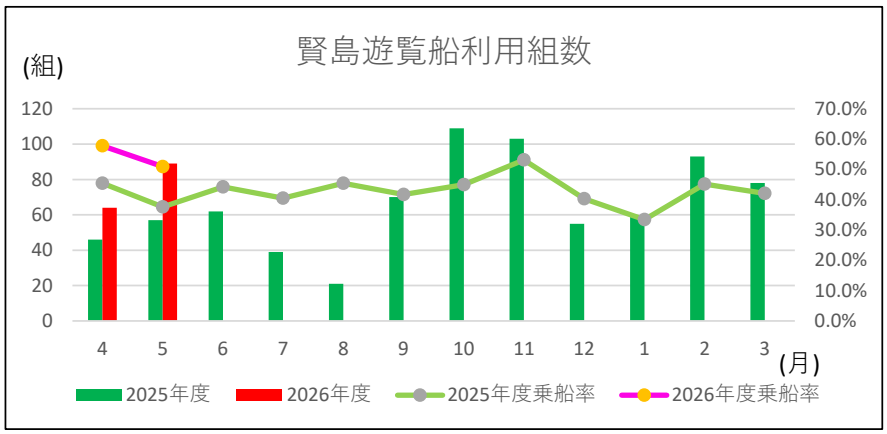
5月の来所者数は200人となり、昨年の5月以来200人台を回復いたしました。2トップの台湾、中国に続き、今月は3位にフランスが入り、入れ替わった4位にアメリカ、そして5位には先月の2人から13人でオーストラリアが入ってきました。注目すべきは国の数で今月の25か国はおそらく過去最高です。内、3か国が初登場でした（ラトビア、ハンガリー、ポルトガル）。昨年は「7月5日問題」があり下降線をたどりましたが、今年は6月も順調に推移しております。英語を中心とした多言語対応スタッフの人数も増やしており、よりきめ細やかな対応を心掛けてまいります。

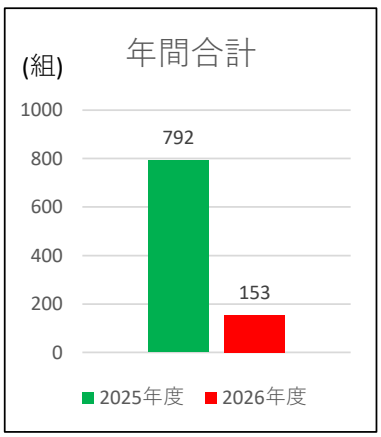
【横山VIEWタクシー】

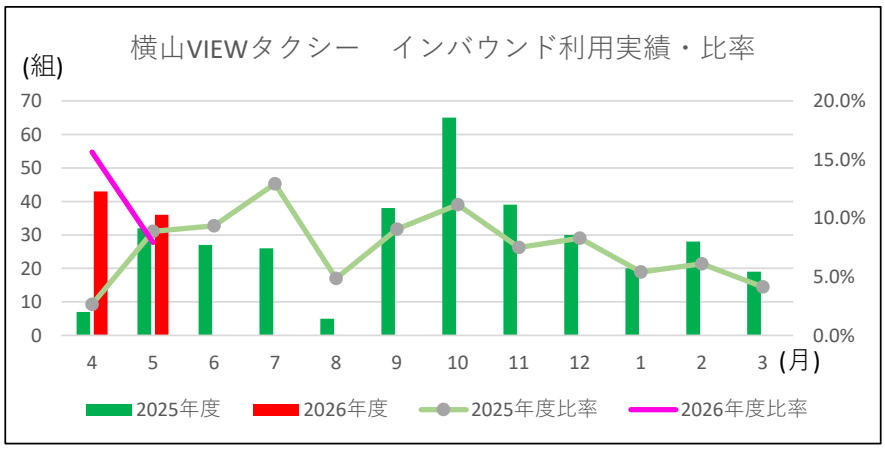
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(台)
2026年度	275	454	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	729
2025年度	265	361	289	201	103	419	583	520	362	370	459	460	4392

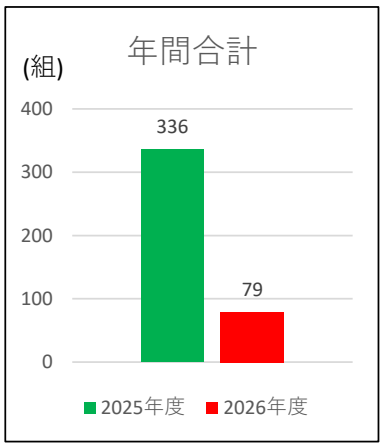










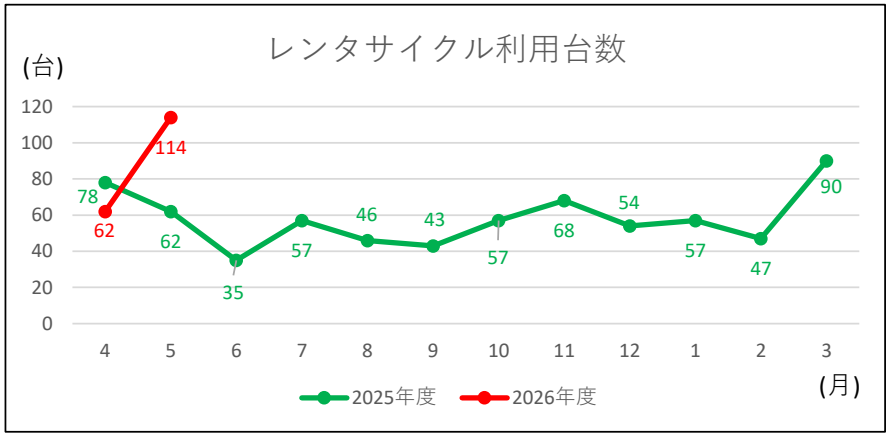


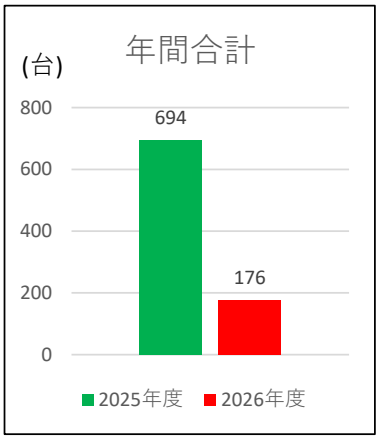
5月の利用組数は昨年度より約100組の増加となりました。その反面、復路賢島への割合や遊覧船の利用率は下がっておりましたが（実数は上がっています）、推するに短時間しかなく、横山展望台のみの観光需要

が高かったためと思われます。実際に案内所での遊覧船割引券を断られることが多いということで、その方々は先に賢島に向かわれて観光して宿泊され、宿でタクシーのチラシで知って翌日鵜方駅まで出向いて来られているという流れのようです。一日目にVIEWタクシーを利用した方が効率が良く、さらに遊覧船の割引も受けられるので、旅マエでVIEWタクシーの存在を知っていただくための訴求をもっとしていかなくてはならないと受け止めております。

今年度から料金を500円から1,000円に値上げしましたがアンケートに「前は500円だったのに残念」というコメントが散見されます。ご利用はほとんど一見さん（いちげんさん）であるので値上げしてもお得感は変わらないと考えておりましたが、リピーターがこんなにいらっしゃるのは逆に嬉しい限りです。

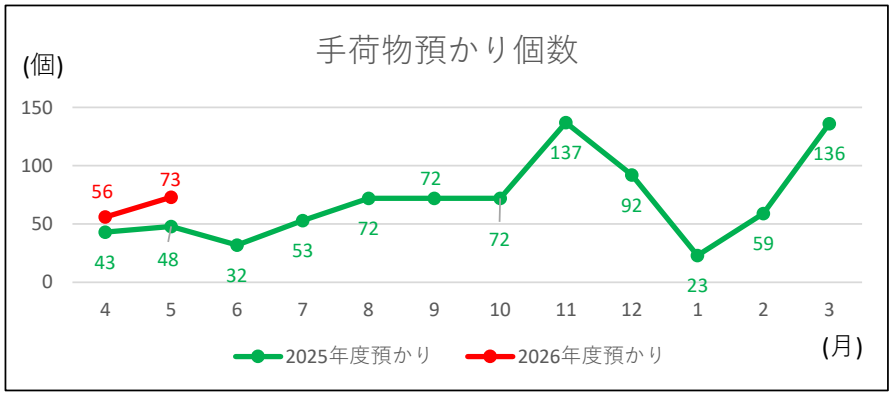
【レンタサイクル】

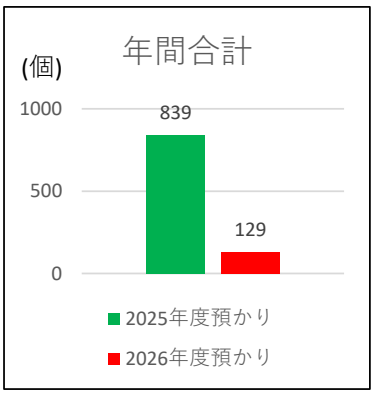


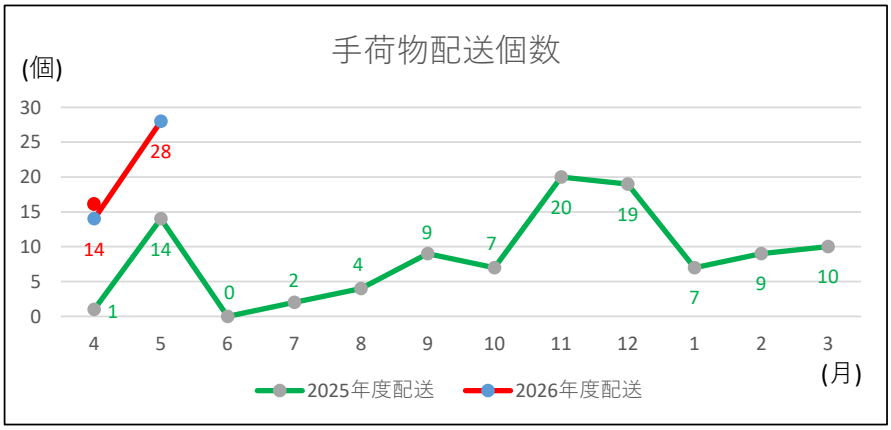


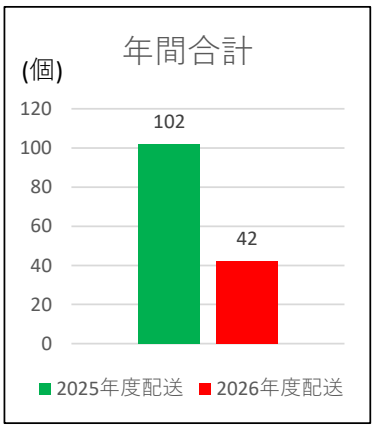
5月は先月から約1.8倍で100台の大台を突破しました。当日予約の比率が30％を超えており、この数値も顕著に伸びています。私どもとしても以前より如何に当日予約を増やせるかを考えており、案内所での自転車の展示や声掛けを意識するなどしてきている成果が表れているものと捉えております。気になるのはこれから襲来するであろう「酷暑」ですが・・・

【手荷物】



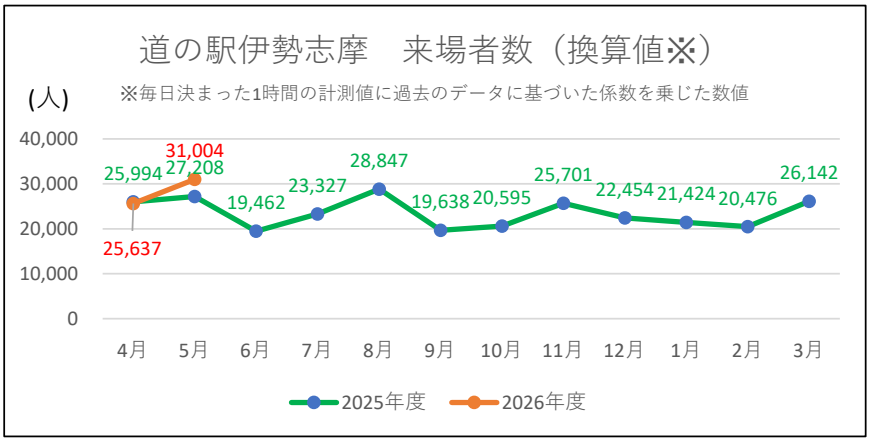


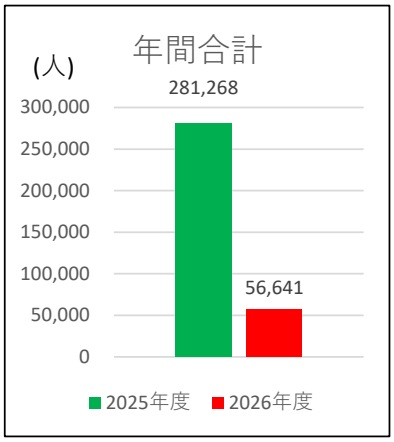




5月も手荷物預かり、配送とも増加しました。特に配送は先月より倍増でした（5/9、10のヤバいＴシャツ屋さんのライブ当日の預かり（75個）は含まれておりません）。コアタイムになると手荷物預けやVIEWタクシーなどでお客様の列ができることもあり、特に手荷物預かりはコインロッカーに入らない大型荷物の方に重宝いただいております。増える来訪者をさらに取り込むため、案内所での荷物預かり（配送）サービスについてもＰＲを強化し、「手ぶら観光」を薦めて参ります。

【道の駅伊勢志摩】

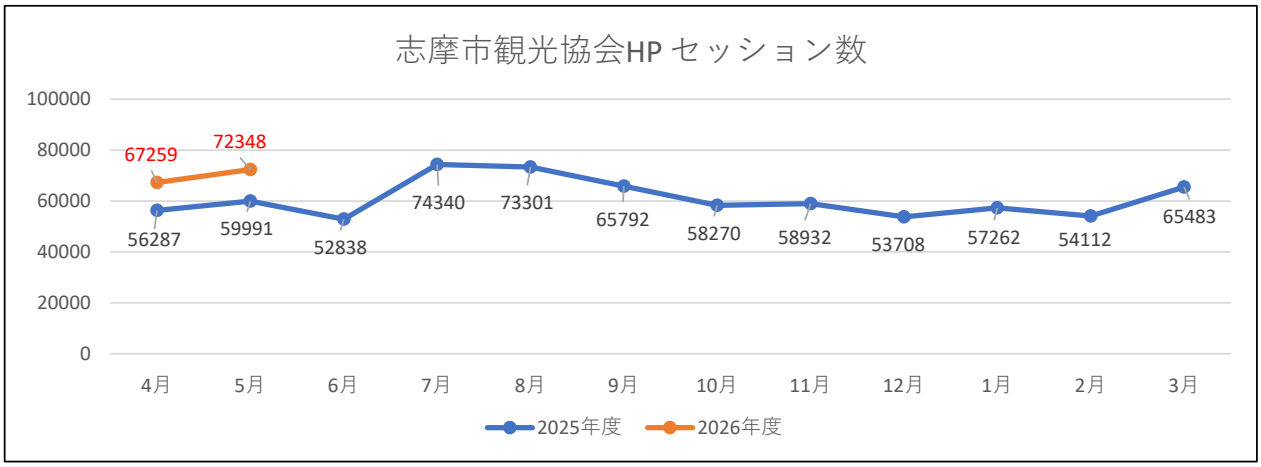


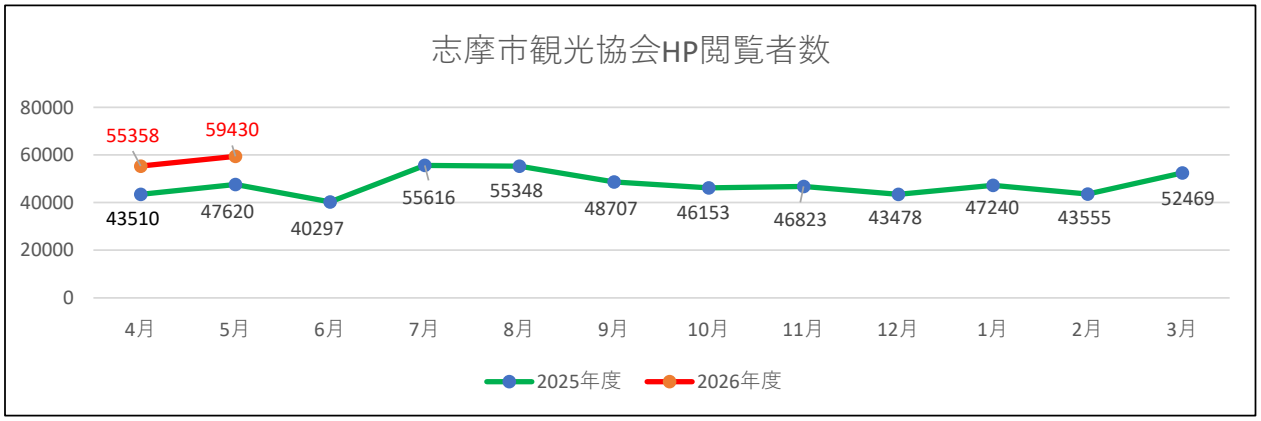


5月は前月の1年ぶりの前年比下回りを脱し3万人越えとなりました。先月ここで書いた中東情勢による車の使用控えという仮説は崩れることとなりますが、引き続き注視していきたいと思います。3万人越えは2022年8月以来で、当時はコロナ禍真っ只中で公共交通利用を避ける風潮による「特需」でありましたので、今回の3万人越えは純粋に志摩への来訪客が増えているという証と思われます。

【ホームページ】

●志摩市観光協会HPセッション数・閲覧者数





●志摩市観光協会HP イベント紹介ページ表示回数ランキング（2026年5月）

1	第62回 伊勢えび祭	11	大迫力の花火やナイトパレードを毎夜上演！ゴールデンウィークのナイター営業【志摩スペイン村】
2	令和8年 志摩あわび王国まつり	12	『ミジュマルルーム』が登場！【NEMU RESORT】
3	2026年 ネモフィラ・芝桜	13	志摩まつり 2026 初夏
4	志摩スペイン村×ヤバイTシャツ屋さん コラボイベント	14	2026年 早春 志摩まつり開催
5	きらりんMARCHE開催！	15	夏を満喫！「サマーフィエスタ」開催！【志摩スペイン村】
6	伊雑宮の御田植式 2025	16	潮かけ祭り(大島祭) 2025
7	伊雑宮の御田植式 2026	17	おすすめランチ情報（2026年5月-2026年6月）【志摩地中海村】
8	日頃の感謝を込めて！志摩市民限定のお得なお試しプランが登場！【Villa Ryusei】	18	「志摩にしました。」キャンペーンスタート！
9	あじさい祭り開催！	19	乗用車コミコミパックキャンペーン！【伊勢湾フェリー】
10	花まつり 2026 開催！	20	第63回 伊雑宮式年遷宮「お木曳」が開催されます

5月の志摩市観光協会ホームページにおけるセッション数は72,348回、閲覧者数は59,430名となりました。前月と比較すると、セッション数は約20.6％増、閲覧者数は約24.8％増となり、ゴールデンウィークを中心とした観光需要の高まりを背景に、多くの方に志摩市の観光情報をご覧いただきました。

5月のイベント紹介ページでは、「第62回 伊勢えび祭」が最も多く閲覧されました。続いて、「令和8年志摩あわび王国まつり」、「2026年 ネモフィラ・芝桜」が上位にランクインしており、地域の食文化を楽しめるイベントや季節の花の見頃情報に高い関心が寄せられました。

また、ゴールデンウィーク期間中は観光スポットや体験コンテンツ、モデルコースなどのページへのアクセスも増加しており、旅行先として志摩市を検討する方々による情報収集が活発に行われたことがうかがえます。特に、家族連れやグループ旅行を意識したお出かけ情報への需要が高く、滞在中の楽しみ方を探す閲覧傾向が見られました。

今後は夏の観光シーズンに向けて、海水浴や体験プログラム、地域イベントなどの情報発信を強化し、より多くの方に志摩市の魅力を届けることで、来訪意欲の向上につなげてまいります。

●志摩市観光協会HP訪問国別ランキング

順位/月	4月	5月	6月	7位	8位	9月
1位	シンガポール	シンガポール				
2位	台湾	中国				
3位	中国	アメリカ				
4位	アメリカ	インド				
5位	香港	台湾				
6位	ベトナム	ベトナム				
7位	韓国	フィリピン				
8位	ドイツ	ブラジル				
9位	インドネシア	インドネシア				
10位	タイ	トルコ				

1位のシンガポールは先月号でも触れました通りクローラー（検索エンジンによる巡回閲覧）によるものと推察されます。

今月はブラジルやトルコなど普段見かけない国もランクインしていました。

トピックス

●浜参宮にておもてなし活動を実施しました

5月9日～6月13日までの間での14日間、鳥羽市観光協会との合同事業として、伊勢神宮の御木曳行事にご参加される際の「浜参宮」にお越しになられた皆様に対するおもてなし活動として、水の配布を行いました。

連日多くの方が参加され、暑い中参拝を終えられた中、「ご苦労様です」「明日の御木曳もよろしくお願いします」とお声掛けしながら少しでも身体を癒していただけるようにと氷水に浸し冷たくしてお渡しをいたしました。

参加者の皆様からは感謝のお言葉もいただき、おもてなしの心をお届けする良い機会となりました。

●第10回定時会員総会を開催しました。

6月18日（木）、志摩市商工会館多目的ホールにて「第10回一般社団法人志摩市観光協会定時会員総会」を開催いたしました。

当日はご来賓として志摩市長 橋爪政吉様、志摩市議会議長 濱口卓様、三重県議会議員 中嶋としき様、志摩市商工会会長 出口勝美様ほか7名様をお迎えし、227名の会員のご出席（委任状出席183名含む）をもって総会は成立いたしました。総会では、令和7年度事業報告および決算、令和8年度事業計画および予算など全3議案についてご審議いただき、すべて原案どおり承認されました。

また、総会終了後には、志摩市観光協会ホームページの運営実績やGoogle Ad Grantsを活用した情報発信の取り組みについて報告を行いました。

会場にご出席いただいた皆様には、御赤飯をお配りいたしました。

ご出席いただきました会員の皆様、ご来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も会員の皆様と連携しながら、志摩市の観光振興と地域の活性化に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新会員ご紹介

新たに会員になられたのは次の３社（施設）さまです。よろしくお願いいたします。

●有限会社 珍海堂 （商工業）鳥羽市小浜町300-22
https://iseebihonpo-chinkaido.com/

大正8年に創業以来、海産物から真珠まで海に関するものを色々と取り扱ってまいりました。「鳥羽の「珍」しい「海」の幸を一「堂」に集め、お客様へお届けする」がスローガンです。

●民泊CAPY（宿泊施設）志摩市志摩町和具1864-2
https://www.instagram.com/capybarafarmprivatelodgingcapy/

2026年中にオープン予定のカピバラと触れ合える体験、餌やり体験、露天風呂鑑賞体験ができる民宿です。

●株式会社ジャパンソリューション（商工業）志摩市阿児町神明1007-14
https://www.uda-meat.com/japansolution/

水道水が水素水に！使い放題のアクアサーバーの正規代理店です。

志摩市観光協会ニュースレター　Vol.18　　2026年6月20日発行
編集・発行／一般社団法人志摩市観光協会
〒517-0501　三重県志摩市阿児町鵜方1670-2　近鉄鵜方駅改札階
TEL：0599-46-1112　FAX：0599-43-8321　Mail：info@kanko-shima.com
※記事内容を無断で転載することを禁じます